

大田区自立支援協議会 令和7・8年度 第1回地域生活部会議事録

文責：事務局

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 令和7・8年度 第1回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和7年5月23日(金) 10:00～11:30			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 3階 集会室1			
(4) 出席した委員、事務局	伊藤 朋春	山根 聖子	長崎 未奈	柴田 静
	小野 英次郎	山田 薫	松浦 好美	南雲 好晶
	区事務局：馬場 齋藤 小西 鈴木			
(5) 内容・要旨	1 議題 (1) 事務連絡 ・出欠確認 ・部会の開催日程、年間スケジュールの確認 第3回及び5回以降については部会長の予定が6月30日以降に決まるため、第2回の部会に決定したものを配布する。作業部会は基本的に行わない。必要な時に行う。 ・司会、書記（議事録）について 司会は伊藤部会長、書記は当番制、第1回は事務局が記録。 (2) 令和7・8年度の活動について ○各委員及び事務局より自己紹介 ○副部会長について 部会長：今年度も自身が仕事で参加できない場合もあり、令和7・8年度も引き続き、山根委員を副部会長としてついてもらいたいと考えている。（一同承認） ○地域生活部会のテーマの設定 ・令和5・6年度は、「10年後も住み続けたい大田区へ」をテーマに、話し合いを進めてきた。 ・今年度も大きなテーマとしては同じで良いのではないかな。その上で、おおた障がい施策推進プランにある、大田区の「地域生活支援拠点」について各機能の現状と取り組みについて確認していくことと、東邦大学にいらした岸先生より意思決定支援のお話も含め、「セルフネグレクト」について検討していくのはどうか。 ・精神障がいの方は入所施設から地域へ戻すという動きがあるが、知的障がいの方について地域に戻すという話は聞かない。 →親亡き後のことを考えると、地域に戻るのは大変。 →身体障がいはさらに戻れないのではないかな。 ・なぜ地域移行がすすまないのか検討が必要。保護者の不安感、入所はさせたくないという考えもある。「入所したから終わり」ではないということを伝えられると良い。どこに行っても（入所施設に入所しても）大田区民で良かったなと思ってもらえたらよい。 ・大田区民でよかったという内容にサブテーマを変えたらよいのではないかな。 ・（事務局）都外施設であっても、大田区から入所した方には、			

	区分調査という形で最低３年に１度訪問し意向確認を行っている。大田区としての関わりは続いている。 ・入所の知的障がいの方は強度行動障がいや重度の人が多いため、意思確認が難しいが、本人の気持ちは親としても気になり重要。 ・入所後の様子を知ることによって安心感にもつながる。テーマに合わせ、関係する行政の人をスピーカーとして呼ぶのも良いのではないかと。 ◎部会のテーマ 「10年後も住み続けたい大田区へ～大田区民でよかったね！～」 ・今年度は「大田区地域生活支援拠点等の各機能の現状の取り組みについて」５つの機能分類（①相談②緊急時の受け入れ・対応③体験の機会・場④専門的人材の確保・養成⑤地域の体制づくり）ごとに検討を進める。検討した内容についてまとめ、自立支援協議会の意見として、区へ報告していくことも考えていく。 ・セルフネグレクトは令和８年度に行う。また、地域生活拠点については令和８年度も話を続けていく。 ○専門部会のみ委員の推薦について 所属団体より推薦者を出す。また団体としてではなく推薦したい人がいる場合は、部会長推薦もできるため、事務局へ連絡をしてほしい。 ２ その他 ご意見カードについて 意見や感想などがあれば提出してほしい。 次回開催日 作業部会 なし 専門部会 7月22日(火)10:00～12:00 5階多目的室 書記 南雲委員 以上
--	--